

『学び・ナビ』

発行責任者
校長：有賀 真道
学習担当：川野 邊勝也

期末テストを終えて



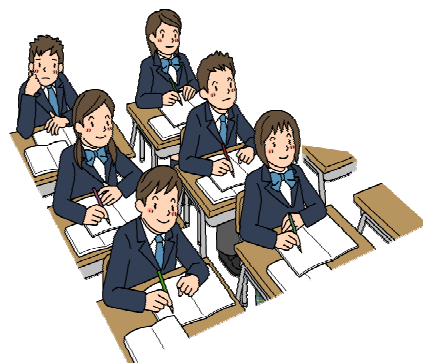
期末テストが終了しました。テストの出来はいかがだったでしょうか？

今週、続々とテストの答案用紙が返却され、各教科においてテストの解答・解説等が行われていると思います。テストの結果には満足していますか？

国語のテストを振り返ると、防げるミス（ケアレスミス）が目立ち、もったいない…と感じています。（おそらく国語だけではないかと…）

《ケアレスミスの例》

- ・一線部のカタカナを漢字に直さない。
 - 一線部のみ直す。
 - ×一線部以外の送り仮名まで書いてしまう。
- ・理由を書きなさい。
 - 文末を「～から。」でしめくくる。
 - ×文末を「～から。」でしめくくっていない。
- ・現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。
 - すべてひらがなで書く。
 - ×漢字がそのまま含まれている。



場合によっては、10点以上損している人も…。解答内容は当たっているのに、答え方で失敗する…こんなにもったいないことはありません。

では、こうしたミスを減らすにはどうすればよいのでしょうか？そうです、「うっかりノート」作りです。「学び・ナビ」第5号で紹介した「うっかりノート」に是非取り組んでみてください。（第5号参照）自分がなぜミスをしたのか、ミスを繰り返さないためにはどうすればよいのかについて考えるためのノート作りです。

以下、これまで「うっかりノート」作りに取り組んできた3年生の声を掲載します。

- 自分の弱点を知ることができるため、同じような問題を解くときに、間違わないようになりました。是非、皆さんもうっかりノートを作成して、弱点克服をしてみてください。
- うっかりノートを作成することにより、自分のミスしがちな部分が分かります。同じ失敗を繰り返さないためにも、自分を振り返ることができ、次につなげることができます。

テストが返ってきている今、是非、「うっかりノート」を作ってみましょう！